

キャラクター名  
浅間 集

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	部隊長(笑)
	オプション		年齢	26歳	性別	男
覚醒	渴望	衝動	自傷	初期侵食率	42%	
出自	親の理解(浅間 宗佐)	経験	平凡への憧れ	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	3	0	0			3	行動値	14
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	14
精神	2	1	2	5		10	戦闘移動	19
社会	1	0	0	2		3	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	10	10	交渉		
回避			知覚	2		意志	1		調達	3	
運転	3		芸術			知識	3		情報	UGN	1
運転			芸術			知識	2		情報		
運転			芸術			知識	4		情報		
運転			芸術			知識	4		情報		
運転			芸術			知識	3		情報		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
オリジン起動		0				レジェンド効果【精神】判定+[LV*2]
		0				侵食+4
これならどうだ?	RC	10r+36		25		(2,3,4)浸食+10 C値9
手加減抜きだ	RC	11r+36		25		[60%↑](2,3,4)浸食+10 C9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
RCブースター	ユニーク;ダレット&ラインハルト
コネ:要人への貸し	
コネ:UGN幹部	
ダレットの腕輪	
車の鍵	メモリー:亀淵
制服	
携帯電話	
ドッグタグ付きのペンダント	
コネ(笑):支部長へのわがまま	
N県への往復切符	
電子記憶媒体	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:奇妙な隣人P		N		
Sロイス:テレーズ・ブルムP	慈愛	N 嫌気		
	P 好奇心	N 不安		
	P 執着	N 脅威		
	P 尽力	N 不信感		
	P 連帯感	N 食傷		
	P 信頼	N 不安		

最大財産P: 12 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
1:オリジン:レジェンド	10	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 【精神】判定+[LV*2]								
2:雷の槍	5	2	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[LV*2+4]ダイス 1								
3:サイレンの魔女	5	5	Xジャー	視界	シーン	対決	-	
効果: 攻撃力+[LV*3]の射撃 装甲無視								
4:マインドエンハンス	3	3	Xジノリ	-	-	-	-	
効果: 判定ダイスC-1 SLV回								
5:紫電一閃	★	6	Xジャー	-	-	対決	リミット	
効果: C-1 雷の槍								
見えざる僕	★	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果: RCでドッジできる。								
リフレックス:ブラックドッグ	3	2	リアクション	至近	自身	-	-	
効果: リアクションのC-[LV]								
波紋の方陣	5	3	オート	視界	単体	自動	80	
効果: ダメージ-[LV+1]d、R1回								
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定前;対象のダイス+LV;R1回								
ウィンドブレス	3	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 援護の風の前;判定+LV*3								
無音の空間	★	-	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 空間の音波伝達と匂いの遮断によって気配を消す。								
電子使い	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 機器なしで電磁記録媒体を読み書きできる。								
真偽感知	★	2	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 発言に嘘がないか見抜く								

(イメージ画像:ゴッドイーターより リンドウ)

「お前さんがいい気になって操ってるそれな、俺なら音にしてバラバラにできるんだが。」

女子力: 9

UGN東京第三支部、部隊長。  
面倒見の良さによる人望は厚いが、驚異的な生還率と複数の相手を一方的に殲滅する姿から半ば化け物扱いされている。相棒も化け物だし仕方ないね。オーヴァードに覚醒してすぐにUGN所属となり、10年以上戦ってきた。というか、所属した場所が慢性的な人手不足で戦わないとここがつぶれるとかなんとかで…過酷な仕事を任せてくる支部長にはある程度のががままを聞いてもらうことを交換条件にしている。過労でそのうち死ぬんじゃないかと最近ちょっぴり不安。(なお、支部長はストレスで死にそうなもよう)

元エージェントの父親と一般人の母親のもとに生まれた。生まれた時はまだ覚醒していなかったため、父親の語る世界を物語のように聞いていた。半信半疑だった世界へ飛び込んだ今となっては父親を一層尊敬している。

オーヴァードに覚醒したのは父親の書斎にあった吸い込まれるような群青の宝石を手にとった時。見つけた瞬間、何かに導かれるままにその石に触れると、それは突然輝くと大きな獣に姿を変えた。自分のことを「マスター」と呼ぶ”それ”は様々なことを教えてくれた。